

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

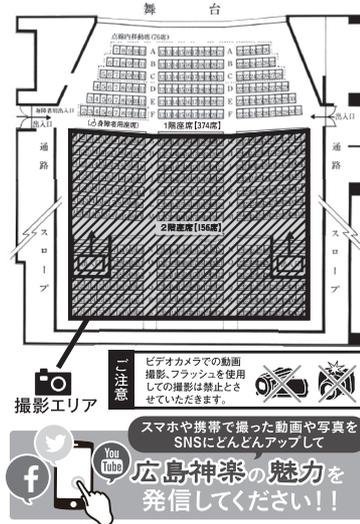
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



11月14日のタイムスケジュール

出演：上川戸神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『塵輪』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『大蛇』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かみかわどかぐらだん

上川戸神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

上川戸神楽団は、熊野神社の氏子三十数戸の中から結成され、古くから舞い続けられた郷土芸能・神楽を受け継ぎ、その継承に少ない団員にもかかわらず、一生懸命頑張っています。

また、受け継いだものには舞の他、木彫りの面や草木染めの衣装、紙鎧など貴重なものもあり、町の伝承館でも展示や保存をいただいています。

先輩・後輩一緒になって、伝統の郷土芸能・神楽の伝承に今後とも努めてまいりますので、ご声援、ご指導よろしくお願いいたします。

第一幕『塵輪』(じんりん)

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。

その中に塵輪という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。

そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乘(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】	大太鼓 … 藤井 徹	仲哀天皇 … 宗広 千寿
	小太鼓 … 山田 かな	高麻呂 … 藤井 和則
	手打鉦 … 日高 昌文	塵 倫 … 石橋 孝征
	笛 … 山田 正彦	鬼 … 天玉 篤史

第二幕『大蛇』(おろち)

出雲国・簸の川の川上で八人の姫を育てていた老夫婦でしたが、年ごとに七人の娘たちが大蛇に取られてしまいました。

老夫婦(足名植、手名植)が八人目の姫を中心に、嘆き悲しんでいたところへ素戔鳴尊が通りかかり、その訳を聞き、大蛇退治の策をたて、大蛇退治を申し出ます。

七人目の姫が大蛇に取られるところから神楽が始まり、後半では大蛇四頭の酒飲み、そして、激闘へと場面は展開します。素戔鳴尊は十握の剣を持って見事大蛇を切り刻み無事退治します。その切り裂いた大蛇の尾の中から一つの剣が出てきました。これが天の叢雲の剣、後に草薙の剣といわれる物で、その剣を素戔鳴尊は天つ神に献上されました。

【出演】	大太鼓 … 石橋 孝征	素戔鳴尊 … 天玉 篤史	大 蛇 … 宗広 千寿
	小太鼓 … 藤井 和則	足名植 … 山田 正彦	大 蛇 … 藤井 徹
	手打鉦 … 天玉 良	手名植 … 藤井 嘉徳	大 蛇 … 日高 昌文
	笛 … 山田 かな	姫 … 片岡 泰英	大 蛇 … 大上 顕男